

ハイキング部だより

第214回

令和3年(2021年)12月4日(土)～堺の古墳とピラミッド



コース:南海高野線・初芝駅～出雲大社大阪分祠～土塔～二サンザイ古墳～
百舌鳥八幡宮～阪和線「JR百舌鳥駅」(約8キロ)

参加者 16名

12月4日(土)今年最後のハイキング(第214回)を実施しました。天候 晴時々曇、参加者16名。今回は中島 宏さん(小浜出身、河内長野市在住)が初めて参加してくれました。

10時南海「初芝駅」をスタート、10分ほど歩いて出雲大社大阪分祠に到着。本殿の大きなしめ縄は本家のそれに負けないぐらいの立派なもので屋根の鳳凰も光り輝いていました。出雲大社大阪分祠は昭和21年吉村亀次氏が愛宕大権現・河内分社として創建し、昭和23年出雲大社より大国主命の分霊を受け昭和33年出雲大社大阪分祠となった神社です。大国主命を祭神としており縁結びにご利益のある神社として有名のようです。

このあと30分ほど歩いて土塔に着きました。土塔は奈良時代の僧行基が建立したと伝わりピラミッド型をした瓦葺土塔の遺跡としては全国唯一のものです。土塔を見た後は全国7番目の大きさといわれる二サンザイ古墳に向かい近くの公園で昼食にしました。最後に立ち寄った百舌鳥八幡宮は欽明天皇(532～571)のころに建てられたと伝えられており境内にある大きな楠の木は幹回り5.2m、高さ25mで樹齢700～800年と言われる名木で府の天然記念物にされています。八幡宮参拝のあとはJR百舌鳥駅に向かい、ここで解散しました。



出雲大社大阪分祠本殿の大きなしめ縄をバックに



出雲大社大阪分祠



百舌鳥八幡宮境内にある大きな楠の木をバックに



出雲大社大阪分祠 鳥居



出雲大社大阪分祠 本殿



ピラミッド型 土塔



瓦葺き土塔の遺跡



にさんざい公園



ニサンザイ古墳



百舌鳥八幡宮 本殿



百舌鳥八幡宮 拝殿



百舌鳥八幡宮を後に

第214回ハイキングは下記の計画で実施しました

～ 堺の古墳とピラミッド ～

日 時:令和3年12月4日(土) 10時 南海高野線「初芝駅」集合

コース:初芝駅～出雲大社大阪分祠～土塔～二サンザイ古墳～
百舌鳥八幡宮～阪和線「百舌鳥駅」(約8キロ)

奈良時代の僧行基が建立したとされる大野寺の仏塔は、土を盛り上げた一辺53.1m 高さ8.6mの十三重の塔で各層は瓦が葺かれていました。平成21年4月復元整備によって創建当時の姿が再現されました。ピラミッド型をしており瓦葺き土塔の遺跡としては全国唯一のものです。

出雲大社大阪分祠は、今年10月15日(金)大国主命ご鎮座70周年記念大祭が行われました。百舌鳥八幡宮は、欽明天皇(532年～571年)のころに建てられたと伝えられています。境内にある大きな楠の木は幹回り5.2m、高さ25mで樹齢700年とも800年とも言われている名木で、府の天然記念物に指定されています。



ピラミッド型の瓦葺き土塔の遺跡



瓦葺土塔の遺跡としては全国唯一のもの



全国で7番目の大きさと言われる二サンザイ古墳



百舌鳥八幡宮境内にある大きな楠の木